

全校朝会 校長講話

平成30年7月9日（月）

7月も2週目に入り、夏休みまでの授業日が9日あまりとなりました。先週末から、西日本を中心とした記録的な大雨により、甚大な被害が出ていますことに、心よりお見舞いを申し上げます。東日本大震災の際には、全国各地の人たちに、私たち福島県民は支援の手を差しのべていただきました。今回の大雨により被災された方々に、私たちが貢献できることは何かを考え行動するとともに、自然災害への備えを万全にしていく必要があることを皆さんと共に確認したいと思います。

先日、田村市教育委員会主催のイングリッシュ・キャンプ及び田村市中学生アメリカ派遣研修について参加希望を募ったところ、本校から12名の皆さんが自ら手を挙げました。異なる環境や文化に自ら飛び込むチャレンジ精神に、改めて敬意を表します。キャンプや研修でも失敗を恐れずに、様々なミッションにチャレンジしてください。また、他校の仲間と大いに交流を深めてください。チャンスを逃さず、果敢にチャレンジして、自分を変えること（チェンジすること）、頭文字をとって「3つのC」を生徒の皆さんには今後も大切にしてほしいと思います。

先日、都路地区少年の主張大会がありました。3年生から選ばれた3名の皆さんの主張は、いずれも代表にふさわしいものだったとかがっています。承知のとおり、8月5日（日）に行われる田村市少年の主張大会には、本校代表として加藤稜太君が出演します。加藤君は、ふるさと都路の活性化のために、自分には何ができるのかを自分自身に問いかけ、はじめの一步として、生徒会長としてできることを確実に実行したいと訴えました。加藤君が自分に問うたように、「学級・学年のために自分には何ができるのか」「部活動のために自分には何ができるのか」「学校のために自分には何ができるのか」を自ら考えて行動することができるようになると、学校生活はもっと楽しくなるし、そのような生徒がもっと増えれば、都路中学校はもっと素敵な学校になるでしょう。勉強においても、「この学習は、今の社会や自分たちの未来とどのようにつながっているのか」まで考えて、自分なりに勉強する目的や意味を見出しながら机に向かえば、勉強への意欲が少しは増すのではないのでしょうか。自分の中学校生活、自分の人生を誰かにやらされているような意識、何となく漫然と過ごしているような意識ではなくて、「自分には何ができるのか」という問いかけから、さらに充実したものにしてください。

皆さんの活躍を期待しています。